

新しい春が来た

飄

々

広報委員

岸本 千種

この正月は遠出せずに、地域密着で過ごした。寒波も外れてくれて、ありがたいことに平和でもあった。

12月31日は「ゆく年くる年」に画面が変わる瞬間を見逃さないために紅白歌合戦も観た。

午後11時45分、豪華絢爛な喧噪のNHKホールから、一瞬にして、ゴーンと響く鐘の音とともに雪に覆われた深夜の寺が映る。「また一年が去ってしまう。何か成せただろうか」という軽い焦燥感と「ともあれ、この年の幕引きまで辿り着けた」という安堵感が混じる。

午前0時、アナウンサーのひときわ明るい「新年あけましておめでとうございます」の声で、テレビ画面が切り替わり、現実に戻される。続いて「年の初めはさだまさし」を、ついついラストまで見ると午前2時になった。この午前2時で、スペースワールドが閉幕してしまった。小学校の修学旅行の定番コース、どこよりもスリル満点の絶叫型ジェットコースター、赤と白のスペースシャトルの模型が記憶に残る。1年前に閉幕を決定公表してから勢いを盛り返して、鮮やかなフィナーレだった。宇宙からの思い出をありがとう。

1月3日、箱根駅伝を観ていて、7区を颯爽と走っていた東京国際大学の30歳の一年生選手に驚いた。年齢制限無いの？何浪？再入学？「高校卒業後、実業団で活躍し、将来の指導者転身を見据えて大学生になった。」との記事を読んで納得

できた。来年は東京国際大学に注目、応援することにした。

また、同日は「アメリカンフットボールの日本選手権で富士通が連覇」のニュースもあった。箱根駅伝で山の神だった元東洋大学の柏原さん(28歳)が、富士通アメフト部マネージャーとして、選手と一緒に笑顔で写っていた。注目を集めた選手が、地に足のついた堅実なセカンドキャリアを踏み出した記事には、新年にふさわしい温かさがあつた。箱根駅伝に対する視野の広い考え方や、つぶされずに次のステージへの糧にしていってほしいと、若い世代の柔軟な強さを見た。

近くの遠石八幡宮へ初詣に行った。箱根駅伝を見た後なので、車でなく早歩きで行ってみた。石段を上りきった境内では、豪華景品が当たる「福みくじ」の真っ最中で、大勢の人で賑わっており景気が良かった。

今年は十干十二支で言えば戊戌年である。次の猪年に命の種を委ね、猪突猛進のための準備の年。充電の年にしよう。

「感謝」の絵馬をかけてから、狛犬をじっくりと観察した。なかなか表情豊かで愛嬌がある。一頭は口を閉じて右前足で邪鬼を踏みつけている。もう一頭の方は口を大きく開いて、サッカー選手みたいに左前足で毬を押さえている。あ・うん、阿吽。口が開いているのが阿形で、閉じているのが吽形である。狛犬は犬同士のペアと思い込んでいたが、犬と獅子の混合ダブルスらしい。

狛犬と言えば、学生時代に古文の授業で習った徒然草のなかで、記憶に残っている数少ない話の一つある。

狛犬が背中合わせの向きになっているのを見て、上人が感激して涙ぐんだ。由来を神官に問うと、「子供たちの悪戯です」と答えて、あっさり狛犬の向きを直してしまい、上人の涙が無駄になってしまったという話。「重くて無理でしょう」と突っ込みを入れたくなった。神官一人で、さっと向きをかえることができたのも不思議だった。当時の狛犬は石ではなくて木製だったらしいと最近知って、やっと納得がいった。

1月9日に発表された日医の新キャラクター「日医君」も犬である。白クマ君も良かったが「にちいキュン」と呼びたいくらい爽やかでキュートな「日医君」の今後の活躍が期待される。ところで、白クマ通信は、白イヌ通信とか白ワン通信とかになるのだろうか？

お知らせ・ご案内



平成29年度 山口県医師会男女共同参画部会総会・講演会

日時 平成30年3月11日(日) 14:00～
場所 山口県医師会 会議室(山口県総合保健会館 6F)

14:00 平成29年度総会

14:30 特別講演

まだまだ知られていない臨床法医学の仕事

山口大学大学院医学系研究科法医学講座 准教授 高瀬 泉

15:50 特別企画

子どもをみまもる現場より

山口少年鑑別所 所長 内田 桂子

下関市こども発達センター診療所 所長 大賀 由紀

※ 託児室あり(要予約)